



寄り添い 伸ばす

荒川区立原中学校

学校だより

11月号

令和5年11月2日

荒川区立原中学校

校長 水井 雅史

【 文化の秋、教育活動の充実 】

校長 水井 雅史

今年の文化祭は、4年ぶりに行動制限のない文化祭となりました。生徒は限られた練習時間を有効に使って、充実した文化祭を作り上げました。参観されたお客様の数は、延べ450名です。多くの皆様のご参観に心よりお礼申し上げます。保護者の皆様からのアンケートにも「感動しました」「生徒からエネルギーをもらいました」など数多くの感想を頂きました。生徒及び教職員一同心より感謝申し上げます。

当日は、ゲストとして歌手の梁瀬先生の歌を楽しみにしていた方も多かったと思いますが、体調不良ということで欠席となり、頑張っている原中生へのエールを込めて、教職員による合唱「夏の日贈りもの」をサプライズで歌いました。



原中生の良い所は、一つの行事に向かって、一生懸命に取り組むところです。その一生懸命さが一人一人の成長と仲間との友情を育むことにつながっていると思います。

さて、文化祭が終わり、3年生は進路を決める三者面談が始まりました。情報収集をしっかりと行うとともに、希望する進路先の学校等を可能な限り見学に行き、雰囲気を感じてほしいと思います。希望する進路先で何がしたいのかをよく考えて、選んでほしいと願っています。最近、荒川区や東京都をはじめとして、補助金や奨学金などについても様々な制度が充実してきています。ぜひ、活用していただきたいと思います。受験に関する「スピーキングテスト」は11月26日（日）に実施されます。会場は都立飛鳥高校に決まりました。3学年の先生の説明を良く聞いて、しっかりと準備して参加してください。

11月は、「原中ワールドタイム」を実施します。TGG (Tokyo Global Gateway) のような外国人講師の先生方とともに、英語を使う場面を設定して小グループで体験する時間です。全学年で実施します。生徒が少しでも実践的に英語を使って生活していく場面を設定し、英語の学習の大切さや面白さを感じてもらえたらと考えています。今年、例年以上に「英検」に力を入れて取り組んでいます。3年生だけを見ても、今年が2回目で、すでに受検率85%を超えました。大きな成果だと思います。

「わかる、できる、おもしろい授業」を目指して、「原中学びスタイル」を生徒、教員で決めました。ICTや学校図書館を活用した授業も増え、着実に生徒の学力は高まっているように感じます。

原中学びスタイル

自分からやる!



自分でやる!

GOALまでやる!

文化祭(舞台発表・合唱コンクール)(10月21日)

原中学校に来て、初めての合唱コンクール。いろいろと分からないこともあって不安でしたが、生徒たちや先生方のこの行事にかける熱い思いに後押しされ、無事終えることができました。各クラスの発表はもちろんですが、



印象的だったのは各学年による全体合唱。それぞれの曲には強いメッセージが込められているのですが、生徒と先生の気持ちがとても込められていたように思います。また3年生はとても完成度の高い合唱で、後輩たちへのよき見本となってくれたことをとても嬉しく感じました。

これから学年を越えた合唱活動にもつながる、よい機会になったと思います。いろいろとご協力いただき、ありがとうございました。

音楽科 長尾松荘